

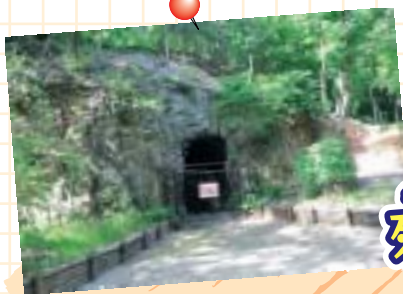


まいばら平和へのあゆみ



戦争からは多くの悲しみや恐怖が生まれました。

子どもたちに戦争の悲しさや平和の大切さをつたえるため、日本で戦争があったとき、米原でどんなことが起こったのかを知り、平和学習を進めるきっかけになればと思います。ぜひ、お子さんやお孫さんといっしょに読んでください。



1 列車壕

空襲から蒸気機関車を守るための防空壕として、岩脇山に2か所の列車壕が掘られました。

完成する前に戦争が終わったので、実際に機関車を避難させることはありませんでした。今も岩脇山の南側の斜面に2か所の入口が残っています。

戦争が長引くと食べ物が不足してきたので、田畑にするために、びわ湖のまわりにあった内湖や湿地の水をぬく干拓がおこなわれました。入江内湖の干拓作業は、ほとんどが人力で、真冬でも腰まで水につかりながら作業をしたそうです。

2 入江干拓

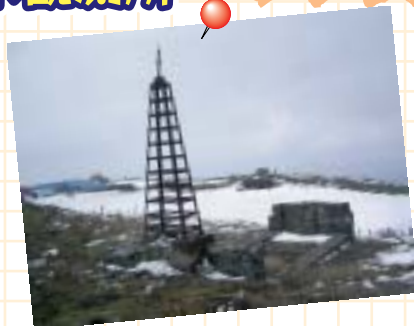


伊吹山の山頂には、かつて気象庁の測候所がありました。

空高く飛ぶ飛行機に氷が着くのを防ぐため、海軍航空技術廠がさまざまな実験を行いました。

3 着氷観測所

現在、写真の鉄塔とコンクリート土台は撤去されています。



4 捕虜収容所

昭和20年5月、梅ヶ原に大阪の捕虜収容所の分所がつけられました。ここには、アメリカ・オーストラリア兵ら199人が収容され、入江内湖の干拓や農作業などの仕事をさせられました。

写真：「米国国立公文書館所蔵、福林 徹氏(京都府亀岡市)提供」



編集・発行／米原市役所 広報秘書課
〒521-0801 滋賀県米原市下寺尾三丁目3番地
☎0749(0)260627 / FAX0749(0)51195
Eメール koho@city.maibara.lg.jp
公社ホームページ http://www.city.maibara.lg.jp/

お盆の市役所業務のご案内

8月13日(木)と14日(金)は、市役所の窓口業務は通常どおり行います。「米原げんきステーション」(米原庁舎南隣り)は、8月12日(水)～14日(金)の3日間お休みをいただきますので、母子健康手帳の交付は健康づくり課(山東庁舎)で行います。